

石川県立鹿島少年自然の家の平成21年度管理状況

施設所管課	教育委員会事務局生涯学習課
指定管理者	財団法人石川県県民ふれあい公社 代表者 理事長 酒井 幸一
指定期間	平成20年4月1日～平成23年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
施設の利用の促進に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 ・職員接遇研修会 職員の資質向上 ・石川県青少年教育施設協議会資質向上研修会 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用者アンケートの実施 その他特記事項 ・HPの更新 ・広報リーフレットの作成 ・施設独自の事業を企画して実施(ピザ作りなど)
施設の施設、設備お呼び備品の維持管理及び修繕に関する業務	施設管理、消防設備管理、電気工作物管理、危険物貯蔵施設管理、浴室等管理、構内管理、衛生管理、清掃管理、廃棄物収集運搬、その他設備保守
施設の使用の承認に関する業務	使用承認、使用承認の取り消し及び使用の制限((2)②参照)
施設の使用料の徴収に関する業務	使用料の徴収、納入 ・使用料の収入実績((3)参照)
(その他、施設の管理に関し、知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・緊急連絡網、消防計画等を作成 個人情報の管理 ・職員全員に周知し、適正に管理

(2) 施設の利用状況

①利用指標((設定している場合)利用人数、稼働率などの数値目標)

指標	H20年度 (参考)	H21年度	前年度比	増減理由
総利用者数(人)	13,930	12,934	93%	中学生・小学6年生の利用が減少。合同参加の申込みが増え施設受け入れ困難となった

②使用許可等の状況

	承認件数
鹿島少年自然の家	207

※使用承認の取り消し及び使用の制限はなし。

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
食事料	9,794 千円		
寝具料	878 千円		
暖房料	137 千円		
スキー用具料	68 千円		

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	33,400	人件費	29,877
利用料収入	10,877	光熱水費	2,505
その他	2,778	修繕費	757
		設備保守	507
		食材費	8,852
		その他(消耗品、消費税等)	5,820
合計	47,058	合計	48,318
収支差額	△1,260		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果(通年実施 有効回答数 261件)

項目	回答				
	良い	概ね良い	普通	やや悪い	悪い
利用者サービス	42.4%	56.7%	-	0.9%	0%
施設の維持管理	24.3%	71.4%	-	4.3%	0%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成21年	優しく丁寧に指導してくれた。工作展示がすばらしい。	
	風呂のシャワーの出が悪い。	修理改善

②事故、故障等

年月	内容	対応
平成21年7月	厨房休憩室エアコン屋外機故障	修理
平成21年11月	消防用設備等不備	修繕

③その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	B	・利用者アンケート調査を行い、利用者の声を運営に活かすよう努めている。 ・プログラムの改造改善や新規開発を行っている。 ・HPを適時更新し、利便性を高めている。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・施設の修繕等に適切に対応している。 ・施設内は清潔に保たれており、仕様書等に基づき適切な管理が行われている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	・適切な職員の配置がなされている。 ・非常時の連絡体制や消防計画などが定められ、安全対策が適切である。
④その他、必要と認める事項	B	・個人情報保護や宿直業務などが、仕様書等に基づき適切な管理が行われている。
総合評価	B	・仕様書等に基づき適切な管理運営がなされている。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を上回っている
- B（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

○総合評価

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D（不可）：改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

民間ノウハウを活用し、利用促進に向けた更なる取組を期待する。
